

1. 勤労者医療の推進
2. 患者様中心の医療提供
3. やさしさと和
4. 専門職としての社会的責任の遂行

やまびこ

No.9

フットケア～最近増えている足のキズ治療～ 皮膚科 副部長 血山泰子



この夏、あせも、水虫、日焼けなどに悩まされた方も少なくないでしょう。また、アトピーや生活習慣病に起因する皮膚疾患に関する悩み、美容目的

的のレーザー治療などで皮膚科を訪れる患者さんも増えてきています。

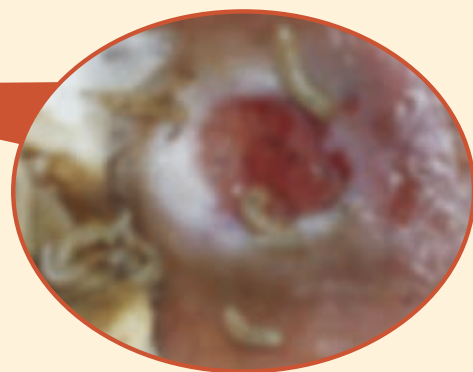
皮膚は、皆さんの心と体を包む大きな臓器です。さまざまな要因によって引き起こされる体調の異変が、色々なサインとして皮膚疾患に表れ、ときには肢体切断などの深刻な治療が必要となることもあります。当皮膚科では外科や内科、カウンセラーとも連携しながら、多様な疾患と向きあっています。

最近動脈硬化や糖尿病といった生活習慣病を患う方が

年々増えてきており、それに伴って血管性の皮膚疾患が増えてきました。血管が細くなって足に傷ができて非常に治りにくくなったり、下肢の切断に至ったり、生命の危険に及ぶこともしばしばです。

このような場合、皮膚科で傷を診るだけでは不十分で、糖尿病内科に糖尿病の治療をしてもらったり、心臓血管外科でバイパス手術や血管内カテーテル治療を行って血行を再建してもらうことが必要になります。当院ではできるだけ看護師、栄養士、リハビリ担当者とフットケアチームを作ってスムーズな連携ができていますのが強みです。また兵庫県下でしている病院はまだ少ないのですが、治りにくい足潰瘍の治療に医療用のうじ虫を用いたマゴット治療を行うこともあります。

特に糖尿病の患者さんなどリスクの高い方に対しては足病変の早期発見と予防も重要です。今後はご自分の足を知って頂き適切なケアについてアドバイスさせて頂くために「フットケア相談」という専門外来を開設し、フットケアのお手伝いをしていければと思っております。



マゴット治療

内臓脂肪CT検査レポートのお知らせ

CT検査に来られた方へ・・・**あなたのお腹の中はどうなっていますか？**

内臓脂肪CT検査レポート

独立行政法人 労働者健康福祉機構
神戸労災病院
日本医療機能評価機構 認定病院

受診日 2011.7.21

氏名	ROUSAI TAROU		
患者番号	99999999		
性別	M		
生年月日	1981年5月19日	30歳	
身長(cm)	180		
体重(kg)	75		

測定結果



【内臓脂肪】			
内臓脂肪面積 (V)	101.4	cm ²	※内臓脂肪型
皮下脂肪面積 (S)	96.0	cm ²	
内臓/皮下脂肪比 (V/S比)	105.6	%	※内臓脂肪型
ウエスト周囲	75.6	cm	

肥満には、内臓脂肪型肥満と皮下脂肪型肥満があり、内臓型はいろいろな病気を引き起こす原因となるので、特に注意が必要です。

肥満の場合、この内臓型か皮下型かを知ることが大切です。

内臓脂肪型肥満を見分ける方法の一つとして、内臓脂肪 (V) と皮下脂肪 (S) の面積を測定して比較 (V/S比) します。

<判定基準値>		内臓脂肪型	皮下脂肪型
V/S比	40%以上	○	
	40%未満		○
内臓脂肪面積	100cm ² 以上	○	
	100cm ² 未満		○

体格指数BMI	23.1	普通
---------	------	----

【BMI判定基準値】 BMI=体重kg÷(身長x身長m)

~18.4	18.5~24.9	25.0~29.9	30.0~
やせ	普通	肥満	高度肥満

最近お腹周りが出てきたと
感じているあなた・・・
自分がどちらの脂肪型かご存知ですか？

おへその周囲のCT画像を撮影するだけで、皮下脂肪、内臓脂肪面積をともに計測します。計測した腹囲や体重等と併せて正確な内臓脂肪面積を知ることができます。皮下脂肪型・内臓脂肪型の肥満を判定するためには皮下/内臓脂肪の面積比率によって断定します。**検査時間は5分かかりません。**自分の脂肪型がどちらかを知ることができる簡便な検査になります。

ちなみに・・・

内臓脂肪型肥満は**生活習慣病**と密接に関係していることが分かっています。内臓脂肪は皮下脂肪よりもつきやすく、また落としやすい脂肪としても知られています。早期発見、早期の対応をすることで重病になることを未然に防ぐことができます。

※検査についてご質問、ご希望がございましたら放射線科受付まで お尋ねください。

神経内科診療開始のお知らせ

10月から神経内科の診療を開始いたします。

	かんだ	ふみお
(隔週の月曜日)	荻田 典生 先生	典生 先生
(毎週 水曜日)	ちはら	のりお
	千原 典夫 先生	典夫 先生

詳しくは内科外来の職員にお尋ねください。



患者の権利の尊重と 患者-医療者のパートナーシップ

- 良質で安全な医療を行います。
- わかりやすく十分な説明を心がけます。
- 治療法などに関し患者様の意向を尊重します。
- 患者様のプライバシーを尊重します。